

前号で紹介した石巻市門脇に植えた花達は元気に育っています。NPO 法人 JEN が水やりボランティアを募り現在7名が応募してくれて花達の面倒を見てくれています。これからも現地に思いを馳せて子どもたちの心の成長を願った活動を企画していきます。

復興“海の幸応援ファンド” 第2陣



平塚さん夫妻

一部の人を除いて223口分の応援ファンドのお返しをお届けし終了することができました。多くの方から再度応援したいとの希望がありました。

浜の皆さんと相談した結果、やはり経済的には助かるものの手間がかかり大変なのだそうです。皆さんが喜んでくれるなら口コミレベルの範囲でお引き受けしたいと泊浜の平塚さんが応えてくれました。

以下の内容で第2陣を実施しますのでPRしてください。



元気に咲いています8月2日の花壇

海の幸応援ファンド第2陣

- 1 復興が遅々として進まない石巻市泊浜の経済支援を目的とした一口一万円の復興応援ファンドで送料込5,000円相当分の海の幸を1回で送ってもらうこと(今回は2回に分けていた)
- 2 海の幸はホタテ、ウニ、ホヤなど時期によって異なることと時期についても浜の状況で確定しないことを了解していただくこと(未だ船着き場は地盤沈下していて出航もままならない状態)
- 3 送金先については前回と同じですが第2陣の申込み用紙は別添ファイルをご使用ください
- 4 泊浜責任者の平塚英徳さんの連絡先

〒986-2401 石巻市泊浜 41 Tel090-2981-0118

猪苗代町 JAPAN CAT NETWORK でのボランティア活動紹介

東日本大震災による被災は動物たちも同じです。特に放射能被害の福島の場合は深刻です。NPO 法人 JAPAN CAT NETWORK はペットとして飼われていた猫や犬が現地に取残されていたり瀕死の状態になっていたりしているところを救出保護し、新しい里親を探し引き渡すボランティア団体です。

7月20日に龍 JIN のダークさんを案内人として小堀夫婦の3名で活動に参加してきました。

代表の Susan さんは米国人で英語の先生をしていたが悲しい状態のペットたちを見過ごせず救出活動を立ち上げた人です。

ペットと生活することで生きる希望が湧いてくる人はたくさんいます。このような人と犬猫を助けたいと思



2匹の犬は散歩が大好き



保護されて里親を待っている猫たち

いが動機となり活動を始めますが里親が決まって引き渡しの時が一番嬉しいと話してくれ



JAPAN CAT NETWORK
の素敵なロゴ

ました。

海外も含めて支援の輪は広がっているそうです。

現在、福島県猪苗代町に買い求めた住宅で活動しており、保護された猫36匹、犬2匹が新しい里親出現を待っています。ボランティアの私たちがお手伝いすることはペット部屋の掃除、トイレ砂の入れ替え、ペット小屋の修理や製作、食糧袋の整理、犬の散歩など様々ですが基本的に動物好きな人が向いています。

外国人を中心に毎週末、東京からボランティアの人が来てくれるそうで私たちが行った時にもフィンランド人の Eija さんが来ていて彼女とお友達になりました。

代表の Susan さんから短期間でもいいので住み込みで猫犬の世話をしながら集金活動の企画推進ができる日本人を探しているので協力して欲しいと頼まれました。

また、里親探しへの協力も依頼されました。心当たりのある人は Susan さんへ連絡してあげてください。**連絡先 Susan さん 090-8534-2646**



観光地猪苗代町にある館



左から小堀、代表の Susan、フィンランド人の Eija、龍 JIN のダーク

南三陸町 O.G.A. For AID での農業支援ボランティア活動紹介

8月1日(木)～2日(金)、南三陸町一般社団法人 O.G.A. For AID (Ortiz Gloval Academy For AID の略)の農業支援活動に烏山高8名と龍 JIN スタッフ4名合計12名で行ってきました。

O.G.A. For AID は、Angela Ortiz さん父娘を核に被災地支援のために作られた組織です。

代表の米国人の Angela さんは「災害当初はガレキ処理などの支援活動を続けていましたが被災者から感じるのは絶望のみでした。南三陸エリアの中心的な産業は漁業だが、津波で漁港一帯は壊滅的な状況と化してしまった。復興には相当の時間がかかるのは間違いない。多くの被災者は仮設住宅で、時間をやり過ごす日々を強いられている。ただ待っているだけの生活では、夢や希望は得られない。毎朝、決まった時間に起きて、働きに出る。そんな生活のきっかけを作れないかと考えた結果、行き着いたのがコミュニティーファームプロジェクトでした」と農場経営への想いを話してくれました。



Angela さん(左)と理事の渡部恵さん

現在は同じ志を持つ有志約10名で農場経営の会社づくりの準備をしているそうです。英語教師の仕事をやめて情熱を傾ける彼女を避難民受け入れ活動で有名なホテル観洋

の女将も絶大な応援を続けています。ホテル内にボランティアセンターや宿泊部屋を何部屋も提供しています。



ホテル内にある O.G.A. のボランティアセンター



ホテル観洋自慢の露天風呂

現在は時給 900 円という好条件で農場での仕事を提供できる体制だそうです、それでも人手が足りずに困っているのが現状で、私たちに応援依頼があったことが今回の活動のきっかけでした。

ボランティアの仕事はきゅうりやネギなどの収穫作業や草取りなどの農業そのもののお手伝いです。

今回のボランティア活動は夏休み 1 週間前という急なお願いにも拘わらず、angela さんの想いを汲んで学校内に募集の展開をしてくれた烏山高校の先生方及びそれにきてくれた 8 名の生徒たちに感謝です。



ホテル観洋を早朝 5:30 出発

農業の仕事は朝が勝負のため前日夕方出発し、ホテル

観洋に泊り朝 5 時スタートという日程でした。私たちが依頼された仕事はネギ畑の草取り作業でした。ひたすら草取りです。時々、海を見て津波のことを考えなが



ひたすらネギ畑の草取りをしました



時々青く輝く海を見ながらの作業

らの仕事でしたが津波が襲ってきた光景は頭の中では作れませんでした。南三陸町の海は波も穏やかに青く輝いていたことと 2 年以上経ち塩害濃度もかなり低くなったため

更地にはセイタカアワダチソウやヒメムカシヨモギのような雑草に覆い尽くされ



作業終了し O.G.A.スタッフの石井さん(右端)と



南三陸町防災センターでお焼香

津波の爪痕が見えないのです。

作業が終了し、「この時期のボランティアはとてもありがたく助かりました」とスタッフの石井さんから挨拶をいただいた後、午後 2 時過ぎに石巻市門脇に向かいました。

帰りに石巻市門脇の花壇に立ち寄りしました

帰りに門脇に作った花壇に立ち寄ることを約束していたので高校生たちも楽しみにしていました。



6月22日に植えた花壇の花達は元気でした

花達は連日の雨と水やりボランティアさんたちのお蔭でとても元気でした。花達を見て高校生たちは「うあ〜っ」と感嘆の声を上げました。

一部枯れた花の入れ替えや水やり作業を行い予定より約1時間遅れて帰路に就きました。

高校生たちから「人の役に立つことをしたかったことが動機だったので喜んでもらえて良かった。自分の家で前と同じ生活ができることが復興と思っていたのでまだまだ先のことが分かった。これからも参加したいし友達にも伝えたい」と感想を話してくれました。



大きくなって花が咲いていたひまわり



門脇地区のシンボルになっているガールスカウト♥花壇と那須烏山市立各学校の花壇の様子

チーム龍 JIN の横断幕をマグネットステッカー方式に一新

ボランティアバスにセットする“チーム龍 JIN”の横断幕（右写真参照）はワイパー根本に結び付けるためワイパーが動かなくなるなどの不具合が発生するためバス会社から嫌がられていました。



大はバス用、小は乗用車用



ワイパーに結わえる横断幕

マグネットステッカーのアイデアをもとに左写真の通り素敵なものができました。

大はバス用、小は乗用車用です。さっそく南三陸町 O.G.A. For AID の農業支援活動から使用しました。可愛らしいデザインはボランティアの皆さんの心を優しく暖かな気持ちにしてくれることと思います。これからも心寄り沿う活動を続けていきます。

皆様のご協力ご支援をよろしくお願いいたします。